

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐらん		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どものことを理解して放課後等デイサービス計画が作成されている	日々の関わりの中で、家庭でのお困りごと、ニーズを連絡帳や送迎時でのやり取りで共通理解を図り、ご家族と一緒に子どもの成長を考えながら支援することを意識しています。	今後も連絡帳等を活用し、共通理解に努めます。また、職員間で事後報告が生じないよう、迅速に報連相を行っていきます。
2	・事業所の職員から共感的に支援をされている	家だけのルールではなく、どこにいても同じように、思いやりやマナー等はとても大事だと伝えています。お迎えの際や面談時に、子どもを含め一緒に様子を話すことで、共通した言葉かけができるようにしている。	子どもとのちょっとした会話でも共有し、更なる共通理解に努めます。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	社会人になるまでに身につけてほしいことを、いかに楽しく興味を持ってもらえるか日々の会議で話し合っています。集団活動の中でどの子も平等に楽しめる活動を提供するようにしています。	職員だけではなく、子どもたちに意見を集う活動も行いながら、一緒に楽しく活動の幅を広げていきます。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があまりない	地域の子供たちの交流は、特に家庭からの要望もなく、時間的にも難しい過去に行事に招待したこともある。が、その限りでその後の交流はないので、今後検討が必要。	今後保護者の要望があれば、お便りやホームページ等で発信していきます。
2			
3			